

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	施設利用件数 (仙台国際センターの利用件数)	件/月	69	74	53	確定 ●	△	あり ●	52	H28年5月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	平成27年度は52件とほぼ前年度と同数にとどまった。
指標2	計画地区施設利用者 (仙台国際センター及び青葉城本丸会館、仙台市博物館の来館者数)	人/月	51,048	70,000	70,692	確定 ●	○	あり					計画地区内の施設における魅力ある催事の開催及び一ぶる仙台的活用により周辺施設間の回遊性向上等が図られたことにより目標を達成できた。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	仙台国際センター催事件数(5,000人以上のもの)	件/年	2	/	8 (H27.8時点予約件数)	確定 ●	/	/	/	/	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	平成27年度末における確定値は10件であり、大型催事については大幅な増加となっており、まちづくり目標の効果発現は見られている。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	地下鉄東西線開業を契機として、計画地区内施設等での魅力ある催事の開催や周辺の観光名所を回遊する一ぶる仙台的活用を図るなど、広域的な集客・交流の拠点となるエリアを形成する。	地下鉄東西線開業を契機とした事業として、市民参加型の「Weプロジェクト」が実施されるなど、計画地区内施設等での各種催事が開催された。	大型催事件数が増加するなど、当該計画地区内における広域的な集客が図られた。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策			引き続き、計画地区内施設等での魅力ある催事の開催や周辺の観光名所を回遊する一ぶる仙台的活用を図るなど、広域的な集客・交流の拠点となるエリアを形成する。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項